

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト 実施報告書

報告日	平成 29 年 2 月 25 日
学校名	筑波大学附属大塚特別支援学校
PTA会長名	戸栗 倫子

実施概要	実施活動名	「クリーン大作戦」
	実施日時	平成 29 年 1 月 25 日
	実施場所	文京区立春日一丁目児童遊園 筑波大学附属大塚特別支援学校から児童遊園までの歩道
	実施目的	近隣の清掃を通して、特別支援学校の存在、そこに通う生徒の姿を知ってもらう
	実施内容	公園及び歩道の清掃
	実施方法	『作業学習』の時間に清掃作業の学習として実施する
	参加人数	高等部生徒 6 名 教員 2 名 保護者 3 名

報告事項	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃用具をリヤカーに積み込み、本校から文京区立春日一丁目児童遊園までの歩道のゴミを拾いながら移動した。 ・文京区立春日一丁目児童遊園では、落ち葉掃きを中心に、植え込みの奥に落ちているゴミを拾う清掃活動を行った。
	結果	<p>普段、一部の生徒が登下校に使用する歩道だが、清掃活動を通してたばこの吸い殻やお菓子、ビニール袋等が落ちていることに気付いた。それらをトング等で拾っていると、商店の方や地域住民の方が「ありがとう」「ご苦労様」と声を掛けてくださった。生徒達はリヤカーをひいて街中を移動することが、高等部の生徒にとって「恥ずかしい」といった感情があったようだが、教師や保護者の見守りもあり、地域の方からの声掛けに対して「こんにちは」と挨拶を返すことができるようになり、清掃活動に対しても、少しずつ積極的に取り組むことができるようになった。</p>
	所感	<p>本校高等部では、これまでの「作業学習」の名称を「ライフキャリア」と変更し、将来の社会・文化への参加に向けて生徒それぞれのキャリア発達を支える学習として今年度展開している。生徒 1 人 1 人が社会的な構成員として、共生社会における多様な人間関係の中で自尊感情を育み自信を持って活動に参加するために必要な「生きる力」を育むことを目指している。3 学期になり、校外の清掃活動を開始した。生徒の目標を尊重し、教員、PTA は見守る姿勢をとる。高等部の生徒のため、周囲の人を気にして恥ずかしそうにする様子も見られたが、地域住民との触れ合いの中で、生徒達が少しずつではあるが、自信を持ち且つ、積極的に活動して行く姿を見ることができた。清掃活動を通しての地域とつながり、また、生徒たちの実習にもつながるこの活動は大変有意義であり、これからも継続していきたい。本校の取り組みとわかるような発信もしていきたい。</p>

添付書類	生徒感想 収支報告書
------	---------------

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成 28 年 2 月 25 日
学校名	筑波大学附属大塚特別支援学校
学年	高等部 1 年

【生徒の作業日誌】

目標：公園の清掃をきれいにしたいです。

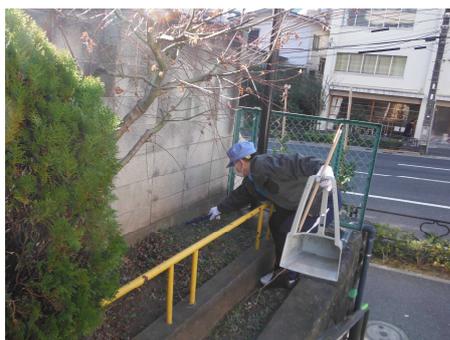
反省：火バサミをかちかちならして、すみませんでした。リヤカーをぶつけないで学校までひきました。

本人からの聞き取り：最初は、リヤカーの運転がとても難しかったです。角を曲がる時に、塀にぶつかってしまいました。でも、慣れて、上手になりました。お店の前に、お菓子が踏んづけられて落ちていました。スズメが食べていました。かわいそうだったけど、汚かったので、ほうきではいて、チリトリでゴミを取りました。お店の人や、郵便屋さん「ありがとう」と言われて、うれしかったです。

目標：今日は、そうじをがんばります。

反省：今日は、ゴミひろいをやりました。ゴミをはくのがたのしかったです。

本人からの聞き取り：下をよく見ると、たばこの吸い殻があって、たくさん見付けました。火バサミで拾って、ゴミ袋に入れました。たばこの吸い殻が落ちていないか、キョロキョロしてよく見ました。Tくんよりも早く見付けて、楽しかったです。公園では、木の下に、落ち葉やパンの袋が落ちていました。たくさんゴミを集めました。ほうきで掃くことが楽しかったです。



活動に参加しての感想

【保護者感想】

自らの活動を外にむけて発信、理解啓蒙に繋がる活動が必要なのではという思いから、高等部の生徒たちによる近隣の清掃活動を実施した。今年度より高等部の作業学習がライフキャリアと変わり、清掃が取り入れられるようになった。春は校内の清掃であったが、3学期は場所を校外に移し、清掃活動に取り組んだ。「筑波大学附属大塚特別支援学校」がどのような学校で、どのような生徒がいるかを知ってもらえる良い機会と思う。

高等部の生徒の中には周囲の視線に戸惑う様子が見られる生徒もいたが、周囲からの声掛けにより前向きに取り組み始めた。PTAは生徒が安全に活動するように見守った。寒い時期であったが一生懸命に清掃する生徒の姿をみて感心した。これからはもう少し「筑波大学附属大塚特別支援学校」の取り組みと分かるようにして、少しずつ地域に定着していきたいと思う。